

AEDの使い方

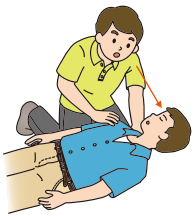
AEDの使い方を覚えよう

AED(自動体外式除細動器)が到着したら、すぐに傷病者に装着し、AEDの音声指示に従って操作してください。現場にAEDがある場合は、AEDを優先的に使用しましょう。

- AEDとは、心停止状態にある心室細動を電気ショックによって除去(除細動)し、心臓を正常な状態に戻す装置です。
- 自動的に傷病者の心電図を解析し除細動の必要性を判断したうえで、音声メッセージにより必要な処置を指示します。
- 心停止から5分以内の除細動の実施が、心停止状態の傷病者の蘇生・社会復帰の確率を高めます。救急現場にAEDがある場合には、落ち着いてAEDを使いましょう。

AED(自動体外式除細動器)を用いた一次救命処置の流れ

1 反応があるか確認



大丈夫ですか？
あっ、反応がない！

① 何らかの「応答」や「しぐさ」がない

2 119番通報とAEDの手配

あなたは**119番通報**して、救急車を呼んでください！

それから、あなたは**AED**を持ってきてください！



3 呼吸を確認する

胸と腹部の動きをみて、普段通りの息があるかないかをみる



① 正常な呼吸がない場合は…

4 ただちに**心臓マッサージ(胸骨圧迫)**を行う **強く! 速く! 絶え間なく!** 呼吸がない・異常な呼吸(しゃくりあげるような不規則な呼吸)がある時は… **ただちに心臓マッサージ**

強く

胸が、少なくとも5センチメートル沈むように
小児・乳児は、胸の厚さの約1/3

速く

1分間あたり、
100~120回のテンポで

絶え間なく
中断は、最少に



人工呼吸ができる場合は…

① まずは**気道を確保**する

片手で傷病者の額を押さえながら、もう一方の手の指先をあごの先端に当てて持ち上げます

② **交互に繰り返す**

心臓マッサージ(胸骨圧迫)を**30回**
1分間あたり、
100~120回のテンポで



人工呼吸を**2回**
1回1秒かけて
吹き込む

5 AEDが到着したら

AEDは、心停止した心臓に電気ショックを与え、心臓の拍動を正常に戻す救命器具です。
電源をいれて(ふたを開けると電源が入る機種もあります)電極パッドを装着し、音声ガイドに従ってください。どなたにも簡単に扱えます。



① **除細動ボタンを押すときは…**
「みんな離れて」と声を出し、手振りも使って離れるように指示します

電気ショック後、ただちに**4** 心肺蘇生を再開します

応急手当のポイント

■ 出血

- ① 出血部分にガーゼやタオルを当て、その上から手で圧迫します。
- ② 感染を防ぐため、ビニール手袋やビニール袋を使用するのが望ましいです。

■ やけど

- ① すぐに水道水などのきれいな流水で冷やしてください。
- ② 衣服の上からやけどした場合は、無理に脱がさずそのまま冷やしてください。
- ③ 水泡(水ぶくれ)は破らないでください。
- ④ 冷やした後は清潔なガーゼなどで保護し、できるだけ早く病院に行きましょう。
- ⑤ 子どもや高齢者は、小さなやけどでも命にかかわることがあるため注意しましょう。

■ 骨折・ねんざ

- ① ねんざの場合は、患部を冷却パックや氷水などで冷やしてください。
- ② 冷却パックは直接皮膚に触れないようにタオル等で保護して使用しましょう。
- ③ 骨折の場合は、そえ木などで固定し、病院に行きましょう。
- ④ 変形しているときは、無理に元の形に戻さないでください。
- ⑤ 適当なそえ木がないときは、段ボールや雑誌など身近にあるものを使用しましょう。

熱中症に対する応急手当

- ① 涼しい環境に移動させ、衣服をゆるめ、安静に寝かせます。
- ② 首・脇の下・太ももの付け根などを冷やします。
- ③ 水分・塩分を自分で飲めるようであれば少しずつ取らせます。
- ④ 頭痛や嘔気などがある場合には、速やかに病院を受診しましょう。
※意識がもうろうとしたり、体温が極端に高い場合には、直ちに119番通報しましょう。

